

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月3日

上場会社名 santec株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6777 URL http://www.santec.com/jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部管理グループ長 (氏名) 水島 大介 (TEL) 0568 (79) 3535
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	576	△3.1	△66	-	△83	-	53	-
23年3月期第1四半期	594	△3.8	△36	-	△100	-	△27	-

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 186百万円 (-%) 23年3月期第1四半期 △85百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	4	43	-	-
23年3月期第1四半期	△2	30	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,693	6,741	87.6
23年3月期	7,548	6,591	87.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,741百万円 23年3月期 6,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭		
23年3月期	-		0	00	-		3	00
24年3月期	-							
24年3月期(予想)			0	00	-		3	00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	1,233	0.6	△160	-	△178	-	△101	-	△8	44
通期	3,200	11.6	157	49.0	134	150.3	206	75.5	17	22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) ー 、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,961,100株	23年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	226株	23年3月期	226株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期1Q	11,960,874株	23年3月期1Q	11,960,950株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(以下、「当第1四半期」)におけるわが国経済は、企業収益の回復などが伝えられたものの、3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動の低下や、電力不足への警戒感などから、先行き不透明な状態で推移いたしました。世界経済においても、欧州を中心として金融不安がくすぶる不安定な状況が続いています。

当社グループの属する光通信分野においては、スマートフォンの成長に伴うデータ通信量の増大により、通信設備増強の必要性の声がある一方で、世界経済への不安感等から、設備投資に様子見の傾向が見られました。

このような中、当社グループは、平成24年3月期(平成23年4月1日から平成24年3月31まで)の基本方針として、「ビジネスユニット制の進化による成長基盤作り」を掲げ、迅速かつ適切な意思決定を可能にする組織づくりと、それに伴う収益率向上を目指し、事業活動を展開しております。

当社グループの当第1四半期の連結売上高は576百万円と、前第1四半期と比較して18百万円、3.1%の減少となりました。前述のように、景気の先行きに関して警戒感が広がっており、光通信分野での売上高が伸び悩んだことが主な要因です。

当第1四半期の営業損失は66百万円(前第1四半期は営業損失36百万円)となった一方、経常損失は83百万円(前第1四半期は経常損失100百万円)と、前第1四半期より損失の縮小となりました。前第1四半期においては為替差損64百万円を計上したのに対し、当第1四半期においては17百万円であったことによるものです。

当社が2001年に投資したTransmode Holding AB(出資当時はLumentis AB)の上場に伴う株式売却により、投資有価証券売却益133百万円を計上いたしました。これにより、四半期純利益は53百万円(前第1四半期は四半期純損失27百万円)となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

当第1四半期の売上高は340百万円と、前第1四半期(383百万円)より11.3%の減少となりました。製品単価の下落に加えて、顧客において震災等の影響を見定める動きがあったことなどが影響したものです。

② 光測定器関連事業

通信設備投資の回復や、中国における通信光化の急速拡大を背景に、製造ライン向け光測定器製品の売上が継続し、研究開発向けの光源装置も好調でありました。また、OCT(Optical Coherence Tomography=光干渉断層画像計)関連製品についても、医療機器向け光源装置の販売や、開発受託案件を伸ばしました。当第1四半期の売上高は前第1四半期(148百万円)より8.9%の増加の162百万円となりました。

③ システム・ソリューション事業

ソフトウェア販売について、既存顧客に対するきめ細かなフォローアップを強化し、利用の更新率向上に努めました。この結果、当第1四半期の売上高は73百万円と、前第1四半期(61百万円)に比して19.4%の増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期末の総資産につきましては、7,693百万円となり前連結会計年度末(7,548百万円)に比べて144百万円増加しました。これは、投資有価証券の売却に伴う現金及び預金の増加が主な要因であります。

② 負債

当第1四半期末の負債につきましては、951百万円となり前連結会計年度末(956百万円)に比べて5百万円の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少が主な要因であります。

③ 純資産

純資産につきましては、6,741百万円となり前連結会計年度末(6,591百万円)に比べて150百万円の増加となりました。これは、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加と投資有価証券の評価差額金の増加が主な要因であります。この結果、自己資本比率は、87.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前述の通り、通信設備投資の必要性は高まっておりますが、東日本大震災と、その後の電力供給不安、世界的な景気の不透明感などが、光通信市場においても影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、このような環境のもと、市場の動向を正確に見極め、変化に対して的確な対応を可能とする組織作りを行うとともに、光技術の可能性を更に高め、将来の成長に向けて全力を尽くしてまいります。

本年5月に投資有価証券売却益を計上したことにより、平成24年3月期の第2四半期連結業績予想および通期連結業績を修正しております。通期業績予想は、売上高3,200百万円、営業利益157百万円、経常利益134百万円、当期純利益206百万円と見込んでおります。なお、本予想は期末における為替相場を1ドル83円、期中平均で80円となることを想定したものであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによつて著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,348,858	1,666,863
受取手形及び売掛金	813,208	556,696
有価証券	175,356	171,246
商品及び製品	129,833	126,586
仕掛品	79,408	90,967
原材料	260,228	294,367
その他	82,941	54,134
流動資産合計	2,889,836	2,960,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,982,087	1,957,911
機械装置及び運搬具（純額）	46,679	42,880
土地	1,624,241	1,624,241
リース資産（純額）	4,795	4,069
その他（純額）	102,960	120,668
有形固定資産合計	3,760,764	3,749,771
無形固定資産	101,515	98,471
投資その他の資産		
投資有価証券	768,499	856,920
その他	27,413	26,995
投資その他の資産合計	795,913	883,916
固定資産合計	4,658,193	4,732,158
資産合計	7,548,030	7,693,021

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,911	349,871
未払法人税等	14,485	4,085
賞与引当金	25,256	41,699
その他	128,920	134,864
流動負債合計	546,573	530,520
固定負債		
退職給付引当金	241,763	248,715
役員退職慰労引当金	153,335	—
資産除去債務	10,612	10,673
その他	4,628	161,832
固定負債合計	410,340	421,221
負債合計	956,914	951,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	597,568	614,730
自己株式	△80	△80
株主資本合計	6,785,519	6,802,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△78,094	59,383
為替換算調整勘定	△116,309	△120,785
その他の包括利益累計額合計	△194,404	△61,402
純資産合計	6,591,115	6,741,279
負債純資産合計	7,548,030	7,693,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	594,483	576,267
売上原価	381,492	378,449
売上総利益	212,991	197,818
販売費及び一般管理費	249,493	264,262
営業損失(△)	△36,501	△66,444
営業外収益		
受取利息	6,223	6,590
受取配当金	681	648
助成金収入	3,888	5,321
その他	244	463
営業外収益合計	11,037	13,022
営業外費用		
支払利息	103	57
為替差損	64,373	17,453
休止固定資産関係費用	10,743	10,580
その他	153	1,947
営業外費用合計	75,373	30,039
経常損失(△)	△100,837	△83,460
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	79,969	—
固定資産売却益	—	5,737
投資有価証券売却益	1,850	133,618
特別利益合計	81,819	139,355
特別損失		
固定資産除却損	7	64
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,937	—
特別損失合計	5,944	64
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,962	55,830
法人税等	2,566	2,785
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△27,529	53,045
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,529	53,045

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△27,529	53,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,056	137,478
為替換算調整勘定	△17,921	△4,476
その他の包括利益合計	△57,977	133,002
四半期包括利益	△85,507	186,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,507	186,047
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	383,839	148,920	61,541	594,300	183	594,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	383,839	148,920	61,541	594,300	183	594,483
セグメント利益又は損失 (△)	7,578	△42,101	△2,051	△36,574	73	△36,501

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外他社製品の輸入販売事業であります。

2. 報告セグメント及びその他のセグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
売上高				
外部顧客への売上高	340,599	162,162	73,506	576,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	340,599	162,162	73,506	576,267
セグメント利益又は損失(△)	△25,372	△48,775	7,703	△66,444

(注) 1. 報告セグメント及びその他のセグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。